

令和元年度 社会福祉法人 月形町社会福祉協議会事業報告

概 況

社会福祉を取り巻く情勢等が大きく変化する中、地域住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会を目指す「地域共生社会の実現」に向けた取り組みが進んでいます。地域福祉推進を主体的に行っている当社協は、あずまし計画の基本目標である「まんまるはひとで共に支え合い、安心・安全福祉のまちづくり」に向けて果たすべき役割や、様々な福祉課題の解決に向け各関係機関や各種団体、地域住民と連携・協働を図ってまいりました。

あずまし計画は3年目を終え、事業実施に向けた地域の支え合い仕組みづくりとその推進に対する支援を行いました。小地域福祉活動（「地域見守り推進事業」や「ふれあいサロン」）の推進、総合事業への理解促進に取り組むとともに、相談体制や権利擁護体制の強化を進め、生活課題に対応した地域住民への支援を実施し住民主体による地域福祉実践活動や柔軟な福祉サービスの提供が展開されました。

社会福祉法人の経営については、組織体制強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化に努めました。地域における公益的な取り組みについては、町内にある社会福祉法人等との情報交換や地域住民に向けた公益活動について協力等を行いました。今年度は職員の人材確保をすることができ、育成、定着支援について取り組みを高めていくこととなりました。また、2月末より新型コロナウイルス感染拡大防止により事業が一部中止または延期となり、生活福祉資金の支援を中心に次年度への相談体制の強化、長期的な福祉支援が必要とされることとなっています。

1 重点事業の実施状況

(1) 福祉への関心を高め、理解を深める機会の提供については、ボランティア活動の推進を中心に学生等の福祉教育や、地域住民に向けた「福祉でまちづくり事業」の実施を展開してまいりました。また、ボランティアリーダー育成の取り組みについては、研修会の実施や養成講座等を開催しました。

(2) 一人ひとりの存在を大切に、交流する機会と場をつくるについては、見守り、サロン、等の事業展開によって地域に潜在している生活課題の発見やニーズについて、福祉活動専門員、生活支援コーディネーターを中心に訪問活動を行いながら行政、関係団体、住民の

協力・連携を得ながら解決に向け努めてまいりました。各町内会ではふれあいサロン活動、全町民対象のあずまし茶屋やあずまし食堂が活発に行われ、住民主体による参加運営がされています。

(3) 困りごとに気づき、必要なサービスを提供するについては、身近な地域で福祉の悩みごと等が相談できる総合相談や権利擁護事業について、積極的に住民周知等を行ってまいりました。そのことにより、制度だけでは対応が難しい方々や低所得者支援を必要とする方々の発見に繋がり、問題解決に向けて貸付制度の活用や就労支援等を関係団体との連携を行いました。

福祉サービス事業については、訪問介護事業・障がい者地域活動支援センター事業に取り組み要介護者及び要支援者等に対して支援サービスの充実に努めてまいりました。利件数は昨年度より少し増えましたが、事業運営は厳しい状況となりました。「生活支援サービス」の実施については、利用者の増員がありました。介護予防・日常生活支援総合事業については、生活支援協議会の実施、集いの場についての協議やボランティア育成等を行い関係機関・団体と積極的に取り組みをしました。

(4)各機関・団体との協働と社会資源づくりについては、あずまし計画の実施・評価、社会福祉法人の地域公益的な活動について、町民や関係機関の協力のもと事業実施に取り組みました。また、月形町交流センターは新たに5年間の指定管理者を受け管理、運営に努め住民へのサービス向上を図ってまいりました。法人運営については、限られた財源の中で効率的で効果的な事業運営を図るため、専門職員の配置、事務事業の見直し等経費の節減・合理化に努め、運営充実に図ってまいりました。

2 事業実施状況

(1) 地域福祉推進事業

社会福祉協議会が行う地域福祉活動の取組みや推進事業の情報を広く町民の皆様に紹介し地域福祉推進役としての社協の役割、相談機能を確認し、各関係機関等との協力を努めました。

★ 心配ごと相談所の開設 土・日・祝祭日を除く開設し、民生委員との連携のもと住民相談に努めました。

相談件数 なし

★ 総合相談

専門職による総合相談を、行政、民生委員、町内会、関係機関等と対応しました。
相談件数 3 件(実人数 3 名) 昨年度 6 件

内容 生活福祉資金貸付相談、介護保険サービス利用について、地域福祉サービス利用について、

★ 社協だよりの発行

ホームページは毎月更新し、情報発信を行いました。広報は 7、10、12、3 月発行し、全戸に配布しました。合わせて、道社協のホームページに掲載しました。

★ 生活福祉資金の貸付 貸付件数 3 件(前年度+1 件)

貸付者 3 名(前年比+1 人)／貸付額計 110,000 円

★ 北海道共同募金会月形町共同募金委員会への協力

各行政区、町内会、学校、ボランティア団体の協力により募金活動に努めました。今年度においても月形町キャラクターベルデくんのピンバッチを札沼線廃線の年として、浦臼町、新十津川町との合同企画で作成し、積極的に地域の各種イベントへ出向き募金活動を実施しました。

(2) 福祉振興事業

在宅生活に向けた様々な生活支援や相談について、積極的に情報提供・支援を行いました。

★ 在宅寝たきり老人等日常生活用品助成事業 (おむつ代助成)

助成実人数 25 名(前年比-6) 125 件(前年比-20)

新規 6 名(前年比+2)

★ 高齢者、障害者等危険個所の除雪「福祉除雪」サービス事業

認定世帯 15 世帯(前年比-12)

実施世帯 3 世帯(前年比-4) 実施件数 4 件(前年比-18)

作業 委託先 NPO 法人サトニクラス

★ 寝たきり老人等入浴事業利用促進

利用件数、相談等 なし

★ 団体助成等への協力

月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会の事務を担当し事業の推進に努めました。また、月形町老人クラブ連合会、月形町身体障害者福祉協会、空

知双葉里親会へ事業補助金の助成を行いました。

★ ふれあいいきいきサロン事業

企画、実施等について、町内会、ボランティア、民生委員協力のもと行いました。

2月末～3月のサロンは新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止としています。

(1)ふれあいどようび

在宅障がい者の方々に呼びかけし定期的に行います。ウォーキング、昼食会等を行いました。 18回実施 延べ参加人数 262名

(2)市北6サロン

市北6町内会の高齢者を中心に茶話会、昼食会等を実施しました。

10回実施 延べ参加人数 124名

(3)北農場1サロン

北農場1町内会の高齢者を中心に体操、レクリエーション、買い物バスツアー、昼食会等を実施しました。 10回実施 延べ参加人数 183名

(4)中和ふれあいサロン

3月3日開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止

(5)赤川1ふれあいサロン

赤川1町内会の高齢者を中心にレクリエーション、講話、レクリエーション、昼食会や茶話会等実施しました。 10回実施 延べ参加人数 158名

(6)赤川3ふれあいサロン

赤川3町内会の高齢者を中心にレクリエーション、買い物バスツアー、昼食会や茶話会等実施しました。 8回実施 延べ参加人数 102名

(7)まんまるカフェ

0歳～就学前のお子さんを対象に、水遊びや親子でクッキングを実施しました。2月開催は、参加者がなく中止となりました。

2回実施 延べ参加人数 37名

(8)男の料理教室

高齢者、若者男性に向けた調理と、栄養面を中心とした料理教室の実施をしました。 6回実施 延べ参加人数 48名

★ ひとり暮らし等高齢者の配食サービス事業（週3回実施）

対象者 26 名(前年比+3 名) 配食日数 155 日

延べ配食数 2,415 食(前年比+398) 新規申請 5 名(前年比+1)

配食便り 毎月 1 回発行、行事弁当 3 回実施

ふれあい昼食会 あずまし食堂と合同で開催

★ 福祉有償運送事業

要介護、支援者、障害者の町内へ通院、買い物等について福祉車両での輸送や障害者への町外通院、移動支援を行いました。

登録実者数 125 人(前年比-2 人)、延べ運行回数 665 回(前年比-128 回)

★ 日常生活自立支援事業

道社協からの委託を受け、相談対応や申請、関係機関との調整等を行いました。

継続利用者 3 名 利用件数延べ 48 回

生活支援員 2 名

(3) 在宅福祉サービス事業

介護保険、障害者総合支援法のもと要支援者等への身体介護、家事支援、通院介護等について利用者ニーズに配慮した人員体制をつくり、介護、支援の強化に努めてまいりました。また、より良いサービスを目指し事業所内・外研修会への全職員参加や、関係サービス機関との連携を図りました。今年度において、新規利用者等で多くなっていますが、サービス提供内容、利用者の減員状況は続いており苦しい経営となりました。生活支援サービスについては、広報やニーズ発掘等に努め、利用者の増員が見られています。生活支援コーディネーター配置については、生活支援協議会の実施や地域包括支援センター、関係機関と連携し事業を進めてまいりました。

★ 訪問介護事業

(1) 高齢者

ケース人員 介護 7 名 (新規 5 名)

総合事業 11 名 (新規 5 名)

延べ件数 1,261 回(前年比+75 件)

(2) 障がい者

ケース人員 居宅介護 12 名(前年比 0 名) 延べ件数 1,585 回(前年比+258 回)

移動支援事業 6 名 延べ件数 71 回

★ 障がい者地域活動支援センター

地域で生活をする障がい者に様々な活動体験を通し、生きがいや生活の質向上につながるサービスを提供しました。加齢による心身面での機能低下や、自閉症や若年性認知症等の利用者支援でより介助を必要とする利用者が多い中、職員3名を配置し専門知識の向上と活動内容の工夫を行いました。近隣の新篠津村・浦臼町も事業実施範囲のため、他町村からの家族相談や利用について連携支援体制を取りました。また、活動や昼食提供には定期的なボランティアの参加があり、地域社会との交流を深めてまいりました。

- ・契約人数 9名(前年比0)
- ・延べ利用人数 1,053人(前年比-62人)
- ・入浴延人数 630人(任意選択事業)(前年比+21人)
- ・送迎延人数 1,053人(任意選択事業)(前年比-62人)

★ 共生デイサービス

町内の高齢者及び障害者、家に閉じこもりがちな者、生活困窮者等の日常生活に支障のある方々について、制度の垣根を越えて地域活動支援センターと一緒にデイサービスを提供しました。2年目を終え、2名の方が利用し、心身機能の維持増進を図ることができました。

- ・契約人数 2名
- ・延べ利用人数 128人(前年比+18人)
- ・入浴延人数 126人(前年比+64人)

★ 生活支援サービス(有料による生活支援)

- ・登録者 4名(前年比+2人)
- ・実施状況 延べ5回(前年比+3)
- ・サービス内容 買い物代行、食事づくり

★ 生活支援コーディネーター活動事業

ボランティアの養成や地域ニーズの把握や解決に向けて町民の方々と一緒に勉強会や事業を行いました。また、集いの場づくりや食堂運営による交流拠点の設置に向けた準備も進めていきました。

- ・アクティブボランティア養成研修 4回実施 4名修了
- ・生活支援協議会 4回実施

- ・「集いの場」に関するアンケート実施
- ・視察研修 3月12日 雨竜町「おいでサロン」 新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止
- ・あずまし茶屋 10回開催 延べ177名参加
- ・あずまし食堂 9回開催 延べ434名参加

(4) 地域活動推進事業

ボランティアネットワークづくりの強化、資質向上を目指し、様々なボランティア活動への協力や紹介を行いました。また、地域福祉の住民ニーズについては、福祉ネットワーク協議会や研修等の開催をしました。

★ ボランティアセンター運営事業

住民によるボランティア活動の推進を行い、個人ボランティア登録、団体、関係機関へのセンター活動の周知やコーディネートを行いました。

センター運営会議 1回

広報発行 4月 全戸配布

研修会参加 2回 10名参加

研修会開催 ボランティアスクール(2月実施) 68名参加

ボランティアミーティング 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

ボランティアセンター祭り (10月実施) 80名参加

町民向け傾聴講座 (11月実施) 51名参加

アクティブボランティア養成講座 4名受講

その他 ボランティア依頼等の紹介 3件

★ ボランティア団体への育成及び活動促進

活動団体への活動助成

3団体へ補助金助成、5団体へ老人世帯除雪援助事業の交付等を行いました。

学童・生徒のボランティア活動普及事業への協力

月形小1,3,5年生・中学校2年生への福祉総合学習の協力

中学2年生生徒による「まちづくりフォーラム」においてこどもサミットの開催

★ 民生・児童委員・行政区長、町内会との連携強化

民生児童委員協議会の参加

各行政区・団体への地域状況把握

★ 地域福祉ネットワーク推進協議会事業

推進会議 3回 事業計画策定、情報交換

研修等 新任研修会 1回実施 (21名参加)

世代間交流事業 3回実施 (249名参加)

福祉従事者等スキルアップ研修(道キャリアパス支援事業)11月実施

★ 地域見守り推進事業

見守り実施状況

対象者 61名 見守り回数(訪問、電話、情報) 1,109回

サポーター 11名(23名担当)

研修状況

サポーター意見交換会 4回

研修会参加 2回

研修開催 「月形町福祉でまちづくり推進フォーラム」73名出席

(5) 社会福祉協議会の充実と財政基盤の強化

理事会、評議員会を開催し組織、並びに事務局体制の充実に努めました。

職員については、年度内に3名の職員を採用し、人員確保ができました。また、毎月所内での研修実施、所外研修等に参加し、知識向上に努めました。社会福祉法人の公益的な活動については、関係団体との協議やあずまし計画の評価について住民や関係機関よりご意見をいただきながら推進してまいりました。

★ 評議員会、理事会、事務局体制の強化

会議開催状況

理事会 5回

評議員会 2回 (3月書面開催)

定期監査 4回

決算監査 1回

運営協議会 新型コロナウイルス感染拡大防止により、書面会議令和2年度6月開催

★ 役職員の研修及び調査活動

7月 地域の絆と支え合い活動空知地区セミナー 役員3名参加

8月 北海道社会福祉大会 役員4名参加

10月 地域に理解され支持される社協づくり研修 役員3名参加

空知管内社協介護保険学習会 役員4名参加

11月 北海道社会福祉協議会主催 監事研修、法人役員専門研修 役員3名参加

空知地区ボランティア活動推進セミナー 役員2名参加

★ 関係機関、福祉団体との連携促進強化

行政区、町内福祉施設との連携を図りました。

★ 社会福祉法人等との連携

8月 あずまし会議開催 6法人参加

★ 地域福祉実践計画実施に伴う住民懇談会の開催

計画実施の進捗状況について評価を受け、新たなニーズや社協の役割について各関係団体と協議しました。3月に住民座談会の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により次年度へ延期となりました。

・あずまし推進会議 9月、R2.5月実施（書面評価）

★ 交流センター指定管理

年間利用者数 12,079名(前年比-760名)年間利用回数928回(前年比+55回)

葬儀、法事等19件(前年比-6回)

職員の状況

令和元年7月1日付採用

地域活動支援センター支援員(嘱託職員) 折野 英行

令和元年9月30日付退職

事務局職員(嘱託職員) 渡邊 俊井

令和2年1月6日付採用

事務局職員(嘱託職員) 金山 邦彦

令和2年3月1日付採用

福祉活動専門員 高谷 司